

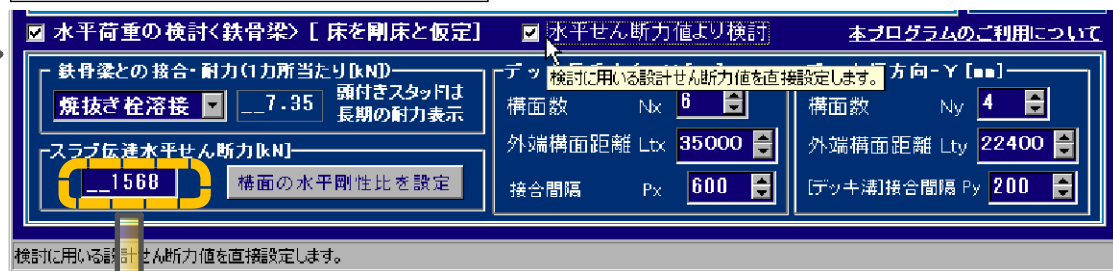
QLデッキ合成スラブ構造計算プログラム QL_Check for win ver 4.3

- ◆ver 3.5から水平荷重時の計算を追加しました。
[焼抜き栓溶接・打込み釘・頭付きスタッドの検討]
- ◆ver 4.3から水平せん断力値の直接設定を追加しました。

メインメニュー画面



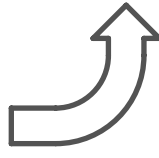
A 水平せん断力値より検討



対象となる層(階)をほぼ同一ラーメンで構成されていると仮定し、直交する各構面(X・Y)の構面数で入力値を均等配分した値を用いて検討します。
構面の水平剛性が均等でない場合、またはXY各構面の検討値を直接設定する場合は『構面の水平剛性比を設定』ボタンをクリックして表示される画面で、数値を直接設定して下さい。

※「スラブ伝達水平せん断力値」については、下記URL、合成スラブ工業会HP/合成スラブのQ&A『適用-Q04』を参照下さい。 [http://www.gousei-slab.jp/q_a/qa_a/4a_04.html]

C 計算結果



B ヘルプ画面

ヘルプ画面[B]参照

印刷-水平荷重の検討-

代表構面(1構面)より検討

対象階(層)の水平せん断力値より検討

B ヘルプ画面

条件設定の補助機能として、Help表示(右画面)を参照下さい。
ボタン『HELP ON(OFF)』により、ディスプレイ左上に別画面が表示(非表示)されます。
右の表示は「水平荷重の検討」項目を設定時の表示です。
またメニュー画面最下欄にあるステータスバーの表示は、各項目をマウスクリック(入力)する度に表示内容が変わります。

C 計算結果

ここで表示を水平荷重時計算結果に切り替えます

水平荷重時の計算書印刷は、水平荷重の計算結果が表示されている状態で「印刷」ボタンをクリックします。

